

特定行為研修修了看護師数の推移（FNPを除く）

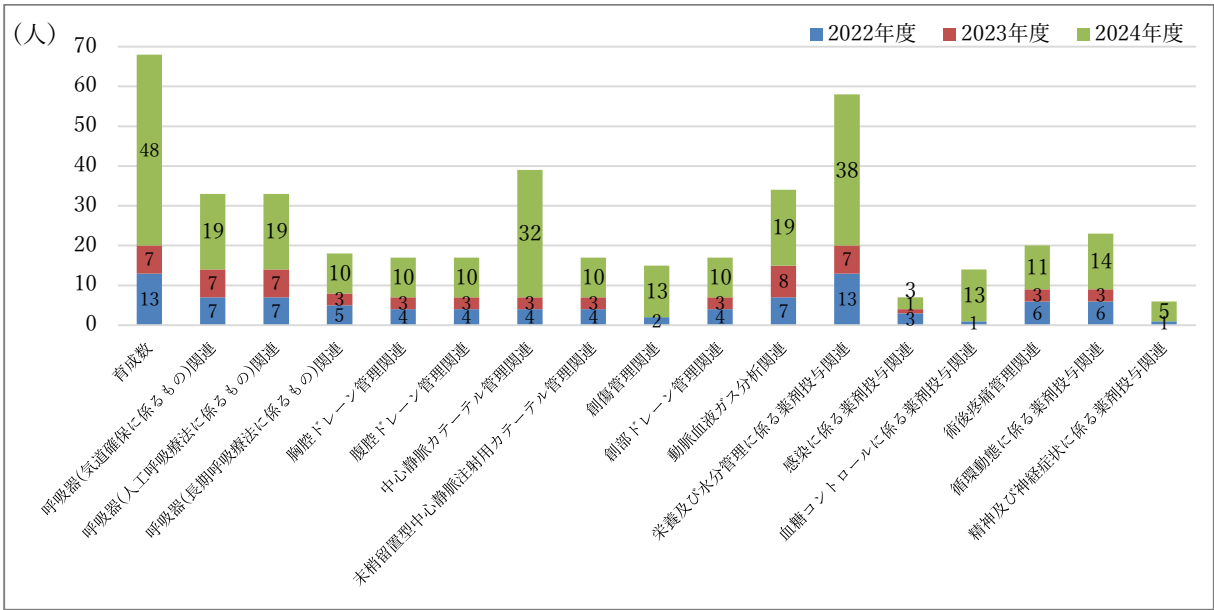
2024年度特定区分研修修了者総数

| 区分別パッケージ・モデル  | 区分別研修修了者総数（名） |
|---------------|---------------|
| 外科術後病棟管理領域    | 20名           |
| 術中麻酔管理領域      | 8名            |
| 救急集中領域        | 7名            |
| 集中治療領域        | 3名            |
| 救急領域          | 5名            |
| クリティカルモデル     | 2名            |
| 慢性期病棟・在宅管理モデル | 1名            |
| 慢性期病棟・創傷管理モデル | 21名           |
| 感染症管理モデル      | 10名           |
| 透析管理モデル       | 1名            |
| 基本モデル         | 10名           |

研修修了者 88 名

| 年度別内訳 育成人数 |      |
|------------|------|
| 2019 年度    | 5 名  |
| 2020 年度    | 10 名 |
| 2021 年度    | 6 名  |
| 2022 年度    | 13 名 |
| 2023 年度    | 8 名  |
| 2024 年度    | 48 名 |
| 計          | 90 名 |

6 年間で 90 名育成、異動や退職のため増減有



2014 年 6 月、「特定行為に係る看護師の研修制度」が創設され、当院看護部においても特定看護師の育成に着手した。2019 年度には看護師特定行為研修指定研修機関として承認を受け、同年度より特定行為区分別研修教育課程を開講した。2022 年度までに 33 名、2023 年度に 8 名、2024 年度には 48 名が修了し、累計 88 名の特定行為実践看護師を輩出した。現在、特定看護師は集中治療・救急領域の部署での活動に加え、当院に入院する糖尿病患者や感染症患者へのケアにおいても横断的に特定行為を実践し、活動の場を広げている。これにより、患者の QOL（生活の質）の向上と、医療チームにおける中核的な役割を果たしている。今後も特定看護師のさらなる育成と、専門性を活かした実践活動の支援体制を強化し、地域医療の質の向上と持続可能な医療提供体制の構築に貢献していく。